

P R T R対象物質の集計について（依頼）

本学は、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」第2条による「第一種指定化学物質等取扱事業者」に該当します。これにより第一種指定化学物質の使用量の集計を行います、各学系、各施設・センター、附属学校課にて取りまとめの上、以下のとおり報告していただきますよう宜しくお願いします。 該当がない場合においても、その旨の回答をお願いします。

P R T R（化学物質排出移動量届出制度）とは

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し公表する仕組みです。

対象事業者は、環境に排出した量と、廃棄物として処理するために事業所の外へ移動させた量とを自ら把握し、毎年国に届け出ます。PRTRによって、毎年どんな化学物質が、どの発生源から、どれだけ排出されているかを知ることができるようになります。

調査対象

平成29年度における該当部局が管理する第一種指定化学物質を含む製品

例：薬品 ガソリン 染料 塗料 高圧ガス 溶剤 接着剤など

* 第一種指定化学物質リストは有害廃棄物処理施設HP (URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~yuugaisi/>)

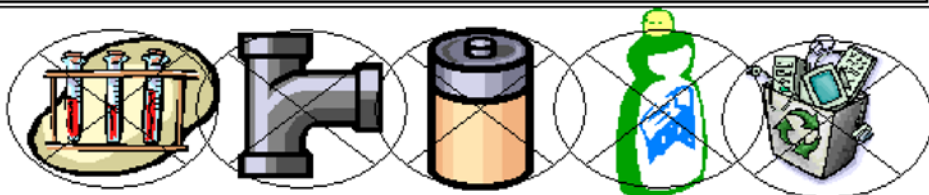
③・④「第一種指定化学物質リスト」をご覧ください。

調査方法

(1) 製品の要件を確認

使用量を把握しなくてよい原材料、資材等(製品)の形状

- ・ 対象物質の含有率が1%(特定第一種指定化学物質の場合は0.1%)未満の製品【=含有率が少ないもの】
- ・ 固形物(粉状や粒状のものを除く)【=金属板、管など】
- ・ 密封された状態で使用される製品【=乾電池など】
- ・ 一般消費者用の製品【=家庭用洗剤、殺虫剤など】
- ・ 再生資源【=金属くず、空き缶など】



含有率が少ない
もの

固形物

密封された状態で
使用される製品

一般消費者用
の製品

再生資源

(2) 物質群（化合物・混合物など）の場合、第一種指定化学物質含有率を確認

(3) 作業シート（Excel）にて、平成29年度中（29.4.1-30.3.31）に使用した薬品と使用量等の確認

(4) 第一種指定化学物質ごとに使用量（=移動量）を算出する。

(5) 提出方法

・ 教員など取扱い担当者

作業用シートを電子データで事務担当に提出

* ファイル名の付け方 作業用シート_shizen_苗字.xls（作業用シート_学系名等_名字.xls）

・事務担当

紙媒体及びデータの両方をご提出下さい。

取りまとめた作業用シートを電子データで施設課施設計画係に提出

学芸ポータルメッセージ（施設課施設計画係 宛）またはメール（yuugaisi@u-gakugei.ac.jp）

に添付しご提出ください。件名を「PRTR作業用シート」としてください。

(6) 提出期限：平成30年6月8日（金） 該当がない場合もその旨回答願います。

作業用シートの入手方法

「作業用シート」は、有害廃棄物処理施設HP（URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~yuugaisi/>）

②作業用シートでダウンロードできます。

「作業用シート」記入要項

「作業用シート」（教員など取扱い者用）

*ファイル名の付け方 作業用シート_shizen_yoneda.xls（作業用シート_学系名等_名字.xls）

A…年間の購入量（受入量）を記入する

B…年度末の在庫量を記入する

C…年度初め在庫量を記入する

D…A B Cより年間使用量を算出する

E…

F…

} この薬品等に含まれる対象物質の番号と名前（第一種指定化学物質リスト参照）を記入する

G…Fが物質群（例：鉛及びその化合物 等）の場合、個別物質名（例：四酸化三鉛 等）を記入する

H…この薬品等に含まれるF・Gに記入した対象物質の含有率を記入する

I…DとHよりこの薬品等に含まれる対象物質の量を計算し記入する

そのほか

- ・ 薬品名の異なるものでも、対象物質が同一ならば、ひとつにまとめてください。
- ・ 保管中の薬品使用量は、「0（ゼロ）」とします。

問い合わせ先

有害廃棄物処理施設

財務施設部 施設課施設計画係 米田(7159)・田部井(5141)

TEL 042-329-7159